

どきどき通信 No.21

Kikugawa City

令和7年7月発行

2025.7 No.21

菊川市内では約400か所の遺跡が静かに眠っています。遺跡はとても身近な場所にある文化財なのです。

今回は、横地小学校区内で発掘調査が行われた主な遺跡についてご案内します。

菊川市

中世の面影がのこる

横地地区

イラストマップ

横地地区は、旧石器時代から人々の生活が営まれ、数多くの遺跡があります。特に横地城周辺は、鎌倉時代頃から横地氏の本拠地として発展します。



土橋遺跡

人の顔が描かれたお祈りの板が確認されました。
人形木製品
実測図(左)・写真(右)



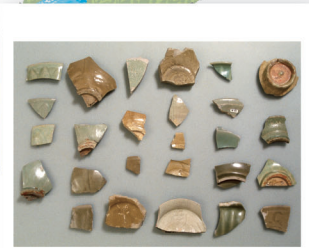
殿ヶ谷遺跡

基礎に礎石を用いる建物が発掘され、横地氏の館跡と考えられています。



横地城

国史跡に指定されています

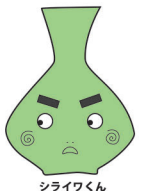


伊平遺跡

輸入された陶磁器が数多くみつかりました。

伝横地太郎塔

14世紀中頃のものと推定されます



シライワくん



ビューポイント



久保ノ谷遺跡

動物の脚部を真似た土器が出土しています。



三沢西原遺跡

菊川市内最古の遺跡であり、旧石器時代～古墳時代まで集落がありました。

最新の情報はこちら！



菊川市HP 公式X(旧Twitter)

